

# まきはた 巻機山 (南魚・塩沢町)

■環境：山地、森林  
■対象：健脚  
■期間：4月～11月

日本に渡来する主な夏鳥を清水集落近くで観察できる。標高差1300mもある巻機山山頂近くには亜高山帯で繁殖するメボソムシクイ、ピンズイ、ウソが生息している。

## <砂防ダムに憩うオシドリの家族>

清水集落上流の威守松ダムは完成から二十数年たち、大量の土砂がダムの底にたまったため水深は浅くなった。毎年梅雨あけころ、この水面に子連れのオシドリが訪れる。近付くことはできないので堰堤からスコップでそっと観察するとよい。

この広い河原ではセグロセキレイ、キセキレイ、イソシギ、イカルチドリ、カワガラス、まれにヤマセミなどの水辺の鳥たちが観察できる。

登川河川敷のヤナギ、クルミ林のこずえではノジコがさえずり、ホオジロは道端で高らかに歌う。

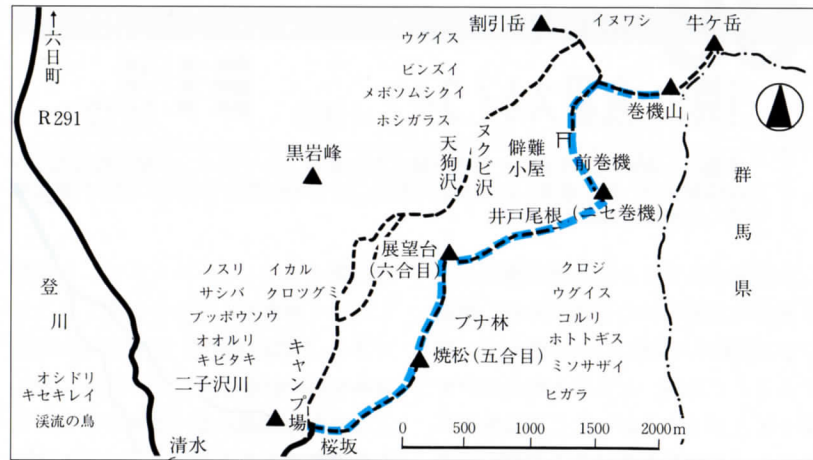
## <巻機山ろく清水地区付近での探鳥>

信濃川の水力で発電した電気は清水集落を通

過する送電線で清水峠を越え首都圏のE電を動かしている。その送電線には地区背後の威守松山のブナ林に巣をもつブッポウソウが子連れで止まって羽を休めている。またこのあたりではノスリ、サシバ、ハチクマまれにクマタカなどの猛禽類も飛んでいる。もちろんブナ林からはオオルリ、キビタキ、クロツグミ、ヤマガラ、シジュウカラ、イカル、キジバト、ヒヨドリ、カワラヒワ、サンショウクイ、メジロなどの歌声が流れてくる。



清水集落から望む巻機山



## <山頂ではウグイス、メボソムシクイ>

巻機山登山コースには、尾根コースと沢コースがあるが、探鳥目的の登山は尾根コースが適している。巻機山登山口の桜坂(駐車場)から焼松(5合目)までの1時間は見晴らしがきかず苦しい登りだが、探鳥には最もよいところである。ブナ、ミズナラなどの二次林で野鳥の歌声がよく聞こえる。ウグイス、ヒガラ、コルリ、キビタキ、カケス、シジュウカラ、クロジ、ホトトギス、ウソ、ミソサザイなどが観察されている。

前巻機(ニセ巻機)から山頂にかけては草原と風衝低木となり見晴らしがよくなる。ウグイス、ピンズイ、メボソムシクイの声が聞こえ、わずかに残されたオオシラビソ林からホシガラス、カヤクグリ、キクイタダキ、コマドリ

など亜高山帯(針葉樹林帯)を代表する野鳥の声を聞くことができる。山頂の上空を旋回するイヌワシにも出会うことができる。

(木下 弘)

## メモ

**交通** JR六日町駅から清水行きのパスで終点下車。車は六日町ICから石打塩沢ICから20分。

☐ 桜坂に有料駐車場、公衆トイレあり。ニセ巻機避難小屋にはトイレなし。巻機山キャンプ場期間(5月下旬～10月下旬)

清水に登山客の民宿8軒。

**探鳥会** 特に行っていない。

**道草** 鈴木牧之記念館

雪に関する日本最古の文献「北越雪譜」の著者鈴木牧之の遺墨、遺品、関係文献などが展示されている。